

住宅用分電盤

# パールテクト 横一列タイプ

施工説明書

- このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。
- 施工の際は、本施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。  
また、本分電盤に同梱の『住宅用分電盤 施工説明書』も必ずお読みください。
- 施工店様は、施工完了後この説明書を取扱者様へお渡しください。

## 安全上のご注意

施工、使用(操作・保守・点検)の前に必ずこの施工説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくご使用ください。

機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて熟知してからご使用ください。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、傷害を招く可能性が想定される場合及び物的損害だけの発生が想定される場合。



厳守



注意

- 分岐ブレーカのパールテクトブレーカは、当社製住宅用分電盤パールテクト専用品です。  
当社製の他の分電盤、他社製分電盤には取り付けできません。  
無理に取り付けた場合、火災のおそれがあります。
- 分岐ブレーカは分電盤に確実に取り付け、ロックレバーを下ろしてください。  
正しく取り付けしていない場合、火災のおそれがあります。
- 分岐ブレーカの負荷側速結端子に電線を接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで電線を差し込んでください。  
差し込みが不十分な場合、火災のおそれがあります。

なお 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

### ■施工上のご注意



注意



厳守

- 電気工事は、有資格者(電気工事士)が行ってください。
- ゴミ、コンクリート粉、鉄粉等の異物および雨水等が分電盤、遮断器内部に入らないように施工してください。  
感電、火災、不動作、誤動作のおそれがあります。
- 配線作業は上位遮断機を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。  
感電、短絡のおそれがあります。
- 端子のL相とN相を正しく接続してください。(AC100V回路専用器種の場合)
- 端子カバーは確実に取り付けてください。
- 端子方式がソルダレス端子のブレーカについては、より線のハンダ上げやバンドは行わずに接続してください。
- 連続負荷を有する分岐回路の場合、ブレーカに通電する負荷電流は定格電流の80%以下としてください。  
(内線規程)

### ■使用上のご注意



注意



厳守

- 線間電圧による感電は漏電ブレーカで保護できません。
- 電気機器のアース端子は必ず接地してください。
- 漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認を行ってください。漏電遮断器が切「○」にならない場合は故障です。  
電気工事店へ連絡してください。
- 絶縁抵抗測定は、ブレーカを切「○」にして行ってください。
- 絶縁抵抗測定は過電圧検出リード線を取り外して行ってください。取り付け状態では正しく測定できません。
- 絶縁抵抗測定は充電部一大地間のみとしてください。

### ■保守・点検上のご注意



注意

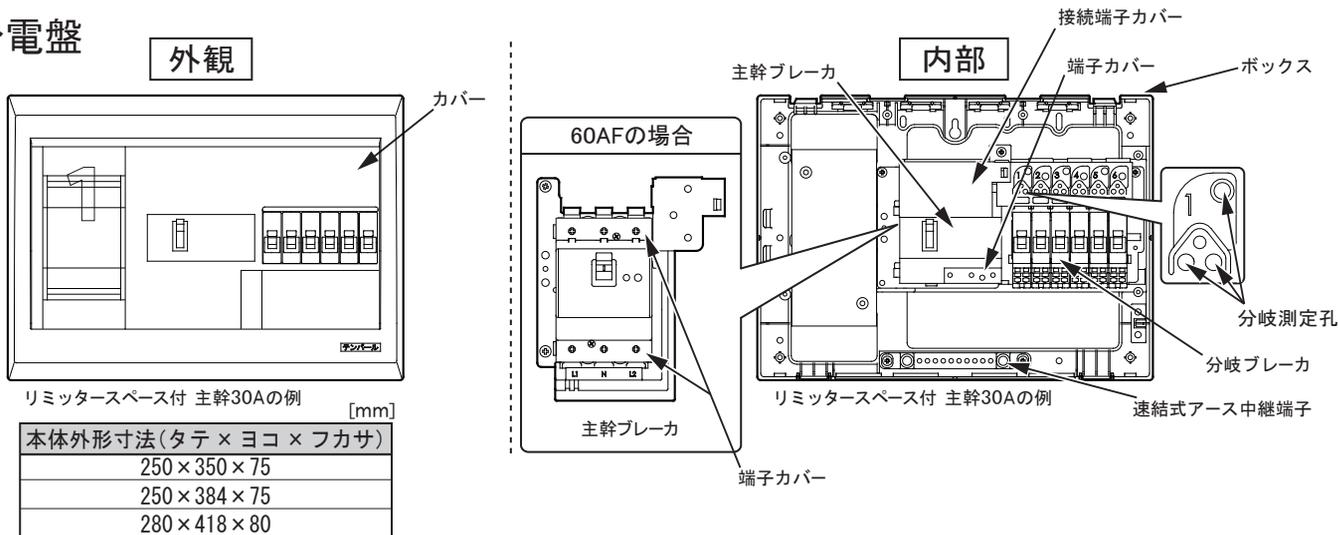


厳守

- 保守・点検は、専門知識を有する人が行ってください。
- 保守・点検は、上位遮断器を切「○」にし、電気がきていないことを確認してから行ってください。  
感電、短絡のおそれがあります。

# 1 各部の名称

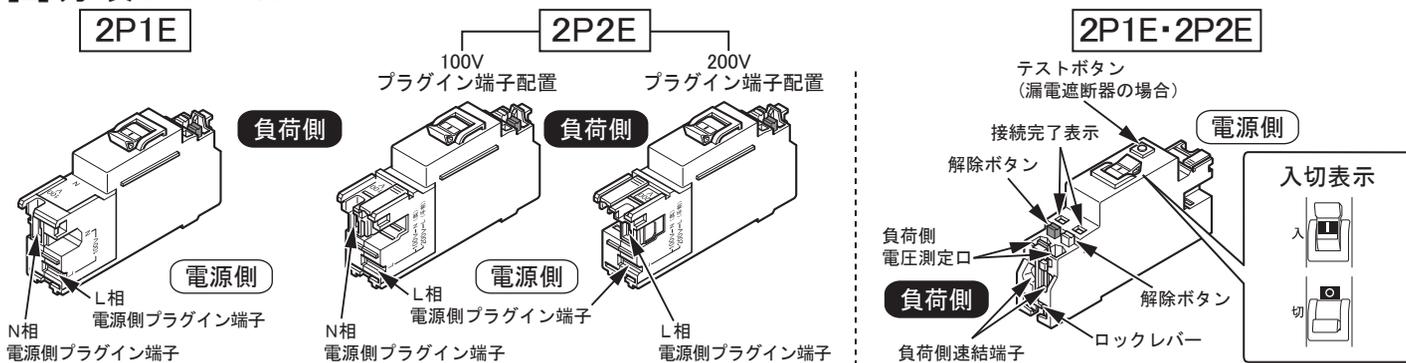
## [1] 分電盤



リミッタースペース付 主幹30Aの例 [mm]

本体外形寸法(タテ×ヨコ×フカサ)
250×350×75
250×384×75
280×418×80

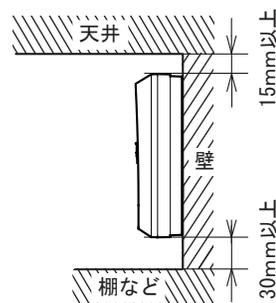
## [2] 分岐ブレーカ



# 2 分電盤の取り付け

## [1] 取付位置について

- (1) カバーの取り外し・取り付けのスペースを確保するため、天井と本体上部の間隔が15mm以上、本体下部と棚などの間隔が30mm以上になるように取り付けてください。
- (2) 照明器具(ダウンライト)の近くに取り付ける場合は、使用されるダウンライトの近接限度距離以上離してください。過熱による変形・火災の原因となるおそれがあります。

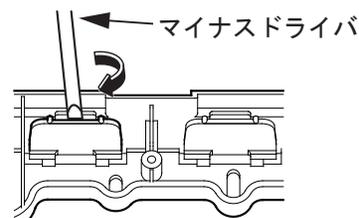


## [2] 取り付け、壁の開口について

- (1) ボックス底面の配線孔に合わせて壁に穴を開けます。
- (2) ボックスの四隅に取り付いているねじでボックスを固定します。

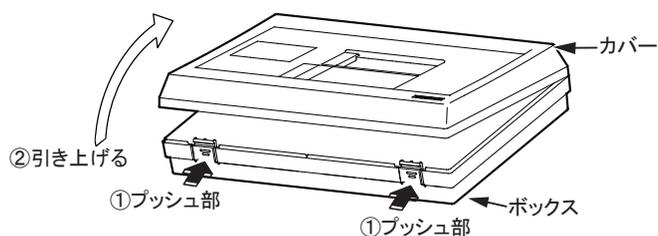
## [3] 配線孔用ノックアウトの開口について

ボックス上側面の配線孔用ノックアウト部は、マイナスドライバを差し込み、ひねると開口します。

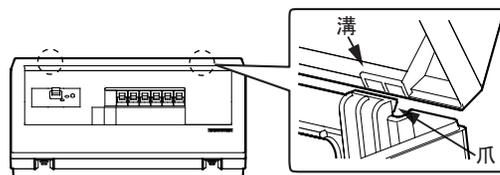


# 3 カバーの取り外し・取り付け

**取り外し** カバー下部のプッシュ部を押しながら、カバーを手前に引き上げます。



**取り付け** ボックス上部の爪にカバー上部の溝を掛けて、カバー下部をそのままボックス側に押し込みます。



※マイナスドライバなどでこじ開けないでください。

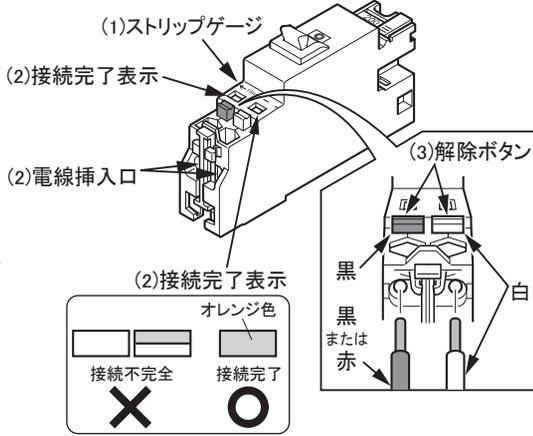
# 4 分岐ブレーカ(速結端子)への電線接続

**注意**

- 電線の押し込み荷重が高すぎる(100N以上)とブレーカが破損する場合があります。
- 解除ボタンの押し込み荷重が高すぎる(70N以上)とブレーカが破損する場合があります。

**禁止**

- (1)電線の被覆をブレーカ本体のストリップゲージに合わせ、15mm(13~18mm)剥離します。
- (2)電線挿入口に電線を差し込み、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差し込みます。オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。電線の剥離長さを確認して接続し直してください。
- (3)電線を抜く場合は解除ボタンを押しながら引き抜いてください。



**注意**

- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
- 心線をはんだ付けしないでください。

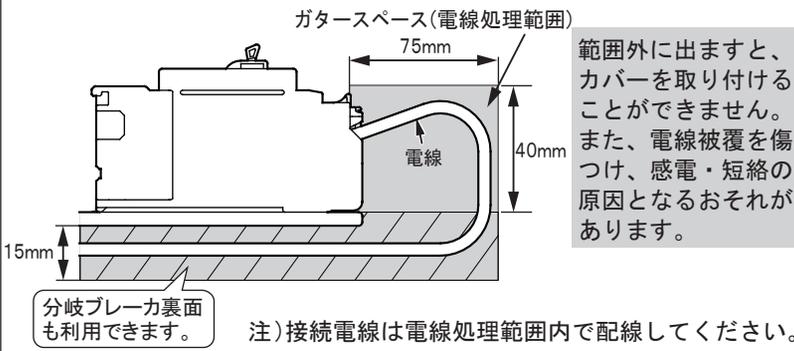
**厳守**

- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良により、発熱・発火の原因となります。電線の変形・腐食部分を取り除いた後、電線の被覆を剥離し、接続し直してください。
- 棒圧着端子を使用する場合は、必ず絶縁キャップを取り付けてください。短絡のおそれがあります。
- 適合圧着工具を使用して電線を圧着してください。

接続可能電線:  $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0 \cdot \phi 2.6$  Cu(銅)単線専用  
 注)30Aは $\phi 2.6$ の単線を接続してください。  
 より線の場合は指定の棒圧着端子を接続してください。

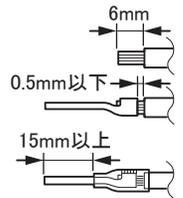
より線サイズ	適合棒圧着端子使用
1.25 mm <sup>2</sup> 2.0 mm <sup>2</sup>	TC 2-20 (棒圧着端子) VC 1-2 (絶縁キャップ) 【ニチフ製】
3.5 mm <sup>2</sup> 5.5 mm <sup>2</sup>	TC 5.5-21ST (棒圧着端子) VC 5.5-21 (絶縁キャップ) 【ニチフ製】 (30Aに標準付属)

## [ガタースペースと電線処理について]



## [棒圧着端子接続方法]

- (1)電線の被覆を6mm剥離します。
- (2)棒圧着端子に電線を通し、圧着します。
- (3)棒圧着端子に絶縁キャップを取り付けます。



■適合圧着工具  
 ニチフ製NH1,NH9,NA3(NA3 7)または同等品

# 5 速結式アース中継端子への電線接続

## [1] 速結端子への接続

電線をストリップゲージに合わせて被覆を12mm剥離し、連結端子の奥まで確実に差し込みます。

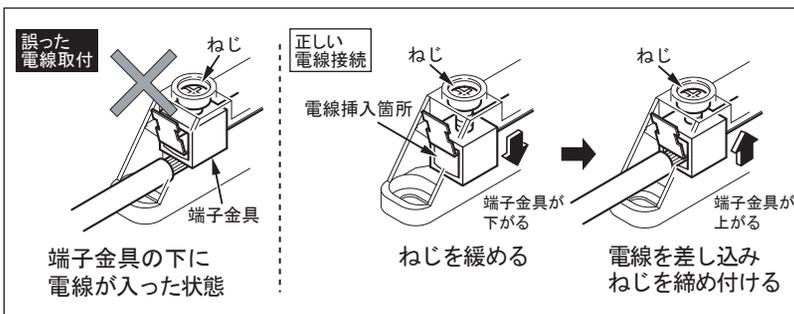
## [2] 電線の抜き方

解除ボタン(白色)をドライバなどで押しながら、電線を抜きます。

## [3] ねじ端子金具への接続

電線の被覆を15mm剥離し、ねじ端子金具のねじを完全に緩めてから、ねじ端子金具に電線を奥まで差し込み、ねじを締め付けます。

ねじ締めトルク 1.9~2.0N・m



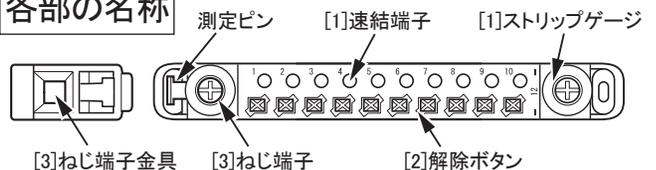
**注意**

- 1つの速結端子に2本以上の電線を差し込まないでください。
- 心線をはんだ付けしないでください。
- ねじ端子金具のねじを緩めない状態で電線を差し込まないでください。

**厳守**

- 電線の差し込み部の変形・腐食は、接続不良により発熱・発火の原因となります。電線の変形・腐食部分を取り除いた後、電線の被覆を剥離し、接続し直してください。

## 各部の名称

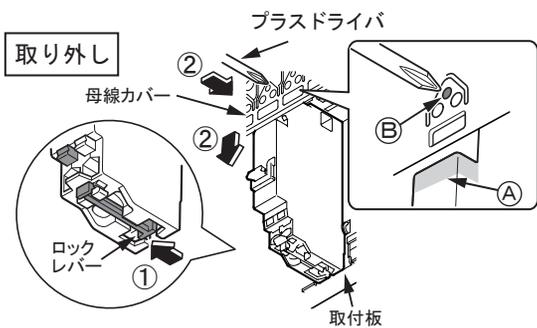


## ●接続可能電線(速結式アース中継端子)

速結端子:  $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$  Cu(銅)単線専用  
 ねじ端子金具:  $\phi 1.6 \cdot \phi 2.0$  Cu(銅)単線  
 3.5~14mm<sup>2</sup>より線

# 6 その他

## [1] 分岐ブレーカの取り外し・取り付け

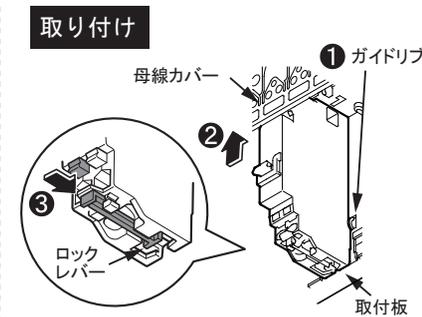


- ① ロックレバーを上げます。
- ② 指を(A)部にかき、ブレーカを引きながら、プラスドライバで(B)部を押し、ブレーカを取り外します。  
※プラスドライバは、2番または3番を使用してください。
- ※ブレーカの脱落に注意してください。

**⚠ 注意**

**⚠ 厳守**

- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。
- 母線カバーは取り外すことができません。  
無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。



- ① ブレーカをガイドリブの間に置きます。
- ② ブレーカをガイドリブに沿って奥まで差し込みます。
- ③ ロックレバーを下ろします。

**分岐ブレーカの増設、交換について**

※分岐ブレーカの増設、交換の際は、パールテクトブレーカをご使用ください。  
電源側プラグイン端子の形状が異なるため、従来のパールミニブレーカは取り付けできません。

パールテクト  
ブレーカ

電源側  
プラグイン端子

パールミニ  
ブレーカ

取付可能機種 (分岐ブレーカ)	
BC-1NA	
BC-2NA	
GBC-2NA	
BCT-1NA	
BC-3・1NSA	

## [2] 分岐ブレーカの電圧切り替え [2P2E型(100/200V)のみ]

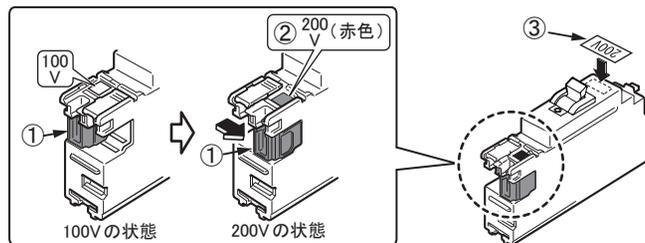
### ■200V回路への切り替え方法

- (1) 分岐ブレーカ(2P2E)を取り外します。  
(上記、取り外し方法を参照してください)
- (2) 電圧切替端子部①を矢印方向にスライドします。  
必ず端(カチッと音がする)までスライドさせてください。
- (3) 電圧確認表示②が200V(赤色)になっていることを確認します。  
電圧確認表示②が100Vのままの場合は異常です。  
本ブレーカを使用しないでください。
- (4) カバー裏面に貼付している200Vシール③を貼付します。
- (5) 分岐ブレーカ(2P2E)を取り付けます。  
(上記、取り付け方法を参照してください)
- (6) 電線接続前にブレーカの負荷側で電圧を確認してください。

**⚠ 注意**

**⚠ 厳守**

- 必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。
- 2P2E型(100/200V)のブレーカを使用してください。

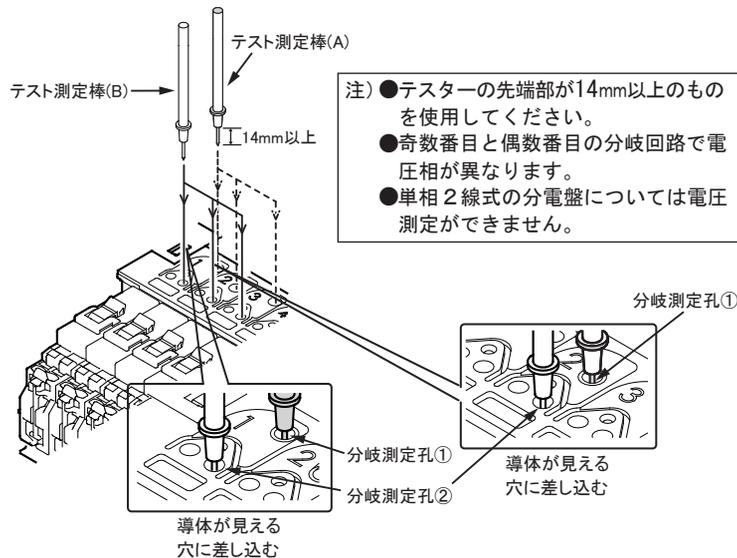


## [3] 電圧測定

### ■分岐ブレーカ1次側の電圧測定方法

負荷機器に電圧を供給する前に各分岐回路の電圧を測定することができます。

- (1) テスターのテスト測定棒(A)を分岐測定孔①に差し込みます。
- (2) テスターのテスト測定棒(B)を分岐測定孔②の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。
- (3) 各分岐回路について(1)、(2)の操作を行ってください。



**⚠ 注意**

**⚠ 厳守**

- 必ず分岐ブレーカを切ってください。
- 分岐ブレーカは正しく取り付けてください。  
正しく取り付けしていない場合、短絡のおそれがあります。

## テンパール工業株式会社

■本店 〒732-0802 広島市南区大州3-1-42  
代表 TEL(082)282-1341 FAX(082)282-8680

技術問い合わせ窓口 TEL(082)287-9110 FAX(082)283-4534  
受付時間 9:00~17:30 [月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)]